読者の広場

昨年に引き続き、今年もさまざまな災害が日本を襲いました。ウイルスや暑さ、災害に負けないよう、人も家畜も日々の備えが大切です。今回は夏の畜舎管理などについてお聞きしました。

Q. 地域の夏の風物詩を教えてください。

■当組合管内の養鶏場は川の近くに立場しており、ホタルが農場内から見える場所があります。
（山口県・鶏　瀬畑 敬文さん）

■花火上げ。
（宮崎県・和牛　下原 利治さん）

■今年は中止かもしれませんが、蔵王高原遠刈田温泉の仮装盆踊りです。
（宮城県・和牛繁殖　ざおうさま）

Q. 夏の畜舎の管理で特に配慮されている点はありますか？

■7月に入り毎日多雨に悩まされ、畜舎も湿気が激しく、乾燥する間がない。そのため、除湿・脱臭剤を毎日散布実施中です。
（長崎県・和牛　豊坂 敏文さん）

■臭気や湿気の対策に重点を置き、除糞の回数の増加、効率的な送風を行っています。
（京都府・肉用牛繁殖　株式会社いちがお畜産）

■扇風機の取り付け、敷料のこまめな交換です。
（宮城県・和牛繁殖　千葉 弘喜さん）

「読者からひと言」

■「128号の内容は台風に備える事について書かれていたので、他の自然災害などについても、また教えてもらえると助かります」
（宮城県・和牛繁殖　もあいさん）

■「キャトルセンターの優良事例を取り上げてください」
（島根県・和牛肥育、子牛育成　肥育の連動術師さん）

■「1年1産の牛づくりについて教えてほしい」
（長野県・黒毛和牛　近藤 明美さん）

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。
「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

見てみて！うちの農場 vol.15 －高等学校編－

大きな目標に全員で向かっていく

生徒が学ぶ校舎

滋賀県立長浜農業高等学校

本校では、現在繁殖牛11頭、肥育・育成牛合わせて21頭の計32頭を飼養管理しています。本校の飼育方法の特徴は、近江牛の育て方の特徴でもある稲わらを給餌するために毎年自家採取している事や、生菌剤を手厚くする事で食いどまりなどを防止する事に努めています。

また、令和４年度に開催される第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）の出品に向け、県の畜産関係者の方々との連携を密に行い、学習に取り組んでいきます。

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課／ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。

知っておきたい ちくさん用語！

ビタミンAコントロール
（10ページより）

牛肉にサシを入れるため、肥育中期に血中ビタミンA濃度を低く保つ事。ビタミンAは脂肪前駆細胞が脂肪細胞に成長（分化）するのを抑制するため、ビタミンAの制限により脂肪細胞を増やす事ができる。ただし、ビタミンA濃度が低すぎるとビタミンA欠乏症を引き起こすため、注意が必要である。

編集後記

取材にうかがった千葉県の九十九里ファームグループは、地域に根差した事業の多角化を進める中で、地元住民からも信頼される存在となっている事を感じました。鶏を大事にする、人を大事にする姿勢で、台風被災の経験を糧に地域と更に強い絆で結びついているように感じました。(E)

さらに役立つ！誌面づくりを目指して

読者の皆さまからお寄せいただいた声を誌面へと反映いたしました。

「畜産分野での労災事故の例や、その予防、対策などを取り上げてほしい」
（128号アンケートへのご回答／鳥取県 カトリーネさんより）
→本誌「これからの季節に備えて」（15ページ）にて反映

資材紹介

オルサス ライト
強酸性消毒液耐性背負型ステンレス製動力噴霧器

主要部品をステンレス化し、過酢酸系除菌剤（ビネパワー）に耐用した背負型の『動力噴霧機』です。付属のスプレーガンは、直射と広角射出を手元で自在に調節でき、細霧消毒用のノズルも付属しています。

製品寸法：高さ623×幅360×奥行220mm

QRコードから「養牛資材紹介（2020年版）」PDFがご覧いただけます。
※「オルサス ライト」は2ページ

養牛資材紹介　2020年　検索

【お問合せ先】
全農畜産サービス株式会社
TEL：03-5245-4871　URL：https://www.zcss.co.jp/

プレゼント

JAタウン『石川佳純カレー』（180g×4食入）
2名様

九十九里ファームより『たまご専用醤油』（200ml×3本セット）
1名様

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。とじ込みハガキ・FAX用紙・QRコードをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。ご回答は、誌面に掲載される場合があります。お名前の掲載が不可の方はペンネームか匿名希望を明記ください。

締め切り：2020年9月18日到着分まで

ちくさんクラブ21及びハガキ・FAX・メール、アンケートの個人情報保護法対応
ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただくこともあります。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。http://www.zennoh.or.jp/

スマートフォン等からも回答いただけるようになりました！

次号のテーマ
- 畜産農家で良かった！と思う瞬間を教えてください。
- 読書の秋！おすすめの1冊を教えてください。

表紙写真
九十九里ファームグループ、はつらつ豚研究会、白楽天、JAファーマーズブレイスの皆さんと関係者の皆さん

編集委員
三浦康治／中尾山隆司／剱持和幸／澤 明／佐藤哲誠／藤田和政
大畑博義／佐藤由治／泉瑞枝／出雲智子／江崎尚二／髙橋光
藤田勇気／児玉博士／関口美加／岩楯かをり／坪野佳奈子

発行元
JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236
FAX03-5218-2526

編集協力／株式会社青丹社
デザイン／株式会社バンブー
撮影／氏家岳寛、竹田宗司
執筆／箱田高樹、今野靖人

校正／くすのき舎
印刷／大日本印刷株式会社

令和2年8月発行（隔月発行）
※本誌の無断転載を禁じます